

1. 廃水処理方法

2. 新規ポリカルボン酸無水物及びその用途

3. 粉体状 1, 4 - シクロヘキサンジカルボン酸

4. ポリプロピレン成形体シリーズ

- ・ポリプロピレン系樹脂成形体
- ・アミド化合物の結晶成長速度を抑制する方法及びポリオレフィン系樹脂成形体の製造方法
- ・アミド化合物の結晶を微細化する方法を含むポリプロピレン系樹脂成形体の製造方法、該製造方法により得られるポリプロピレン系樹脂成形体、及びその二次加工成形品

5. 流体軸受装置

◆技術の特徴◆

ポリオキシアルキレン系界面活性剤を含有する廃水中の**1,4-ジオキサン**を**連続的に処理**して、低減させる方法。

◆活用できそうな分野◆

ボディソープ・ハンドソープ・シャンプーなどの
洗剤を製造しているメーカー

＜ポイント＞

- ・ポリオキシアルキレン系界面活性剤を含むこと。
- ・フェントン処理装置が必要。

◆効果◆

- 泡立ちが発生しない
- 工業的に効率よく連続的に処理可能
- 1,4-ジオキサン***を低減

(* PRTR法対象化合物)

◆特許情報◆

出願日：2010年3月31日

出願番号：特願2010-84537

登録日：2014年4月4日

特許番号：特許第5510004号



新規ポリカルボン酸無水物及びその用途 JP6428606

◆技術の特徴◆

この酸無水物を使うと、耐熱性、透明性、耐熱黄変性、表面硬度、耐溶剤性、屈曲性及び密着性に優れたエポキシ樹脂成形体が得られる。

◆活用できそうな分野◆

エポキシ樹脂成形メーカー、電子材料部品メーカー

＜ポイント＞

- ・酸無水物硬化が必要。
- ・ディスプレイ用透明コーティングが得意。

◆効果◆

○不揮発性

→作業環境にやさしい酸無水物硬化ができる。

○透明性、耐熱黄変性

→バックライトの高熱にも負けない。

◆特許情報◆

出願日：2014年4月18日

出願番号：特願2015-512532

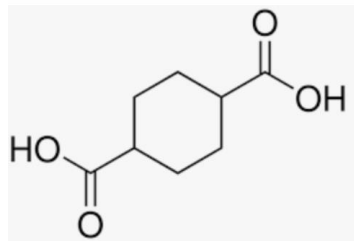
登録日：2018年11月9日

特許番号：特許第6428606号



◆技術の特徴◆

流動性が良い高純度の1,4-シクロヘキサンジカルボン酸の粉体に関する技術。



◆活用できそうな分野◆

化学製品メーカー

<ポイント>

1,4-シクロヘキサンジカルボン酸の製造設備が必要。
水素化反応ができること。

◆効果◆

○**流動性が良い**→粉体の取扱いが楽、作業効率UP。

○**高純度品**→用途が広がる。

* 1,4-シクロヘキサンジカルボン酸はポリエステル/ポリアミド樹脂やトラネキサム酸の原料

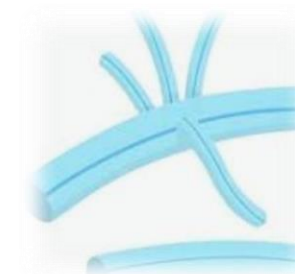
◆特許情報◆

出願日：2017年3月8日

出願番号：特願2018-504540

登録日：2021年3月16日

特許番号：特許第6853485号



◆技術の特徴◆

結晶核剤の「ナフタレンジカルボン酸アミド化合物」を添加し、成形加工時にその核剤を微細に析出させることでポリプロピレンのβ晶ができる。
ポリプロピレンのβ晶は高い剛性を有する。

◆効果◆

○高い剛性

→成形品のバリエーションが増える。

○引っ張り方向に強い

→破断しにくいから地震などの揺れにも強い。

◆活用できそうな分野◆

ポリプロピレンの成形加工メーカー、雑貨（ゴミ箱、衣装ケース、イス）

<ポイント>

- ・添加剤とポリプロピレンを溶融混練する必要がある。
- ・射出成形時に特定の温度にすることで発現しやすくなる。



◆特許情報◆

ポリプロピレン成形体シリーズは3つの特許でワンセットです。

①ポリプロピレン系樹脂成形体

②アミド化合物の結晶成長速度を抑制する方法及びポリオレフィン系樹脂成形体の製造方法

③アミド化合物の結晶を微細化する方法を含むポリプロピレン系樹脂成形体の製造方法、該製造方法により得られるポリプロピレン系樹脂成形体、及びその二次加工成形品



①特許番号：特許第5644500号

出願日：2010年1月12日

出願番号：特願2010-530906

登録日：2014年11月14日

②特許番号：特許第5794145号

出願日：2010年5月13日

出願番号：特願2011-513370

登録日：2015年8月21日

③特許番号：特許第5974655号

出願日：2012年6月13日

出願番号：特願2012-134297

登録日：2016年7月29日

流体軸受装置 JP5298903

◆技術の特徴◆

主としてハードディスクのスピンドルモーター部に関する技術。

◆活用できそうな分野◆

スピンドルモーターを扱うメーカー

<ポイント>

○エステル基油を使用すること。

○帯電性と耐久性が求められる駆動部を有する部品にも応用可能。

◆効果◆

○酸化安定性を保ったまま、導電性を実現する
→耐久性がいい。

○回転による静電気が蓄積されにくい
→ヘッドの損傷やエラーレートの増大を防ぐ。

◆特許情報◆

出願日：2009年2月6日

出願番号：特願2009-25841

登録日：2013年6月28日

特許番号：特許第5298903号

